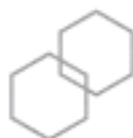


gordano



sgi

メッセージング・ソリューション

Gordano Messaging Suite



Gordano Messaging Suite

優れた運用性と高度なセキュリティ対策を実現

Gordano Messaging Suite(GMS)は、ワールドワイドで2万社以上の導入実績をもつメールサーバを中核とするメッセージング・ソリューションです。GMSは、メールサーバを始めとして、Webメール、インスタント・メッセージ、スケジューリング、コラボレーション、アーカイピング、アンチウイルス/スパムなどメッセージング・システムに求められる機能を提供します。GMSが持つそれぞれの機能はモジュール化されていますので、お客様は必要な機能を選択して独自のコミュニケーション環境を柔軟に構築することができます。

導入時には既存のクライアントのアプリケーション資産も変更することなく活用でき、また運用性にも優れ、メッセージング・システムの維持管理にかかる人的リソースを最小限に留めることができ、TCOの削減を実現します。

また、GMSの機能モジュールのひとつとして、NTTソフトウェアがもつ暗号化ソリューション「CipherCraft」を提供します。「CipherCraft」の搭載により、GMSが従来より提供するセキュリティソリューションであるウイルス/スパム対策に加え、メール暗号化やメール誤送信防止など情報漏えい対策も提供するメッセージング・システムを構築することができます。

日本SGIでは、これまでに培った豊富なインテグレーションの実績とノウハウを基盤としたトータル・コミュニケーション・サービスを提供します。

特長

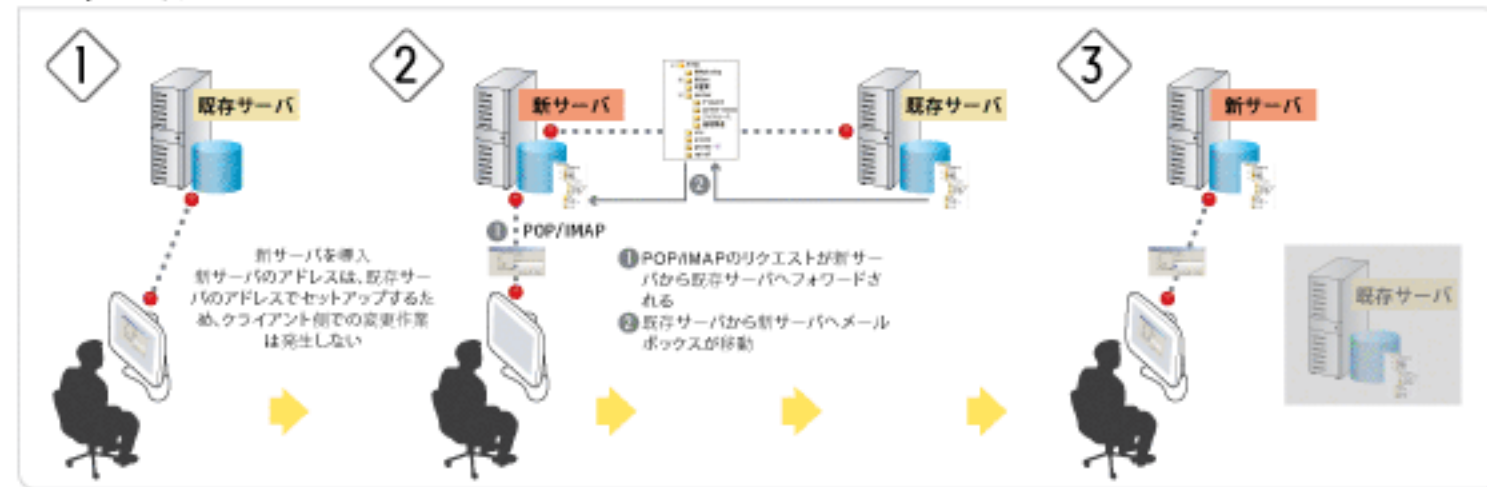
- Linuxを始めとするマルチプラットフォーム対応
- 必要な機能を自由に選択可能
- 既存メールサーバからの移行が容易
- 高度なスキルを要する管理オペレーションの回避
- さまざまなクライアントから利用可能

■GMSメールサーバ

GMSメールサーバは、LinuxはもちろんUNIX®やWindows®プラットフォームに対応し、SMTP/POP3/IMAP4を使用した定評のあるパワフルなメールサーバであり、各種メールクライアントをサポートします。また管理者はWebベースの管理ツールを使用して、導入作業や日々の管理作業を容易に行うことができます。このため管理コストやハードウェア・リソース、アップグレードなどメールサーバの運用にかかる維持管理コストを大幅に低減することができます。GMSでは既存のPOP3/IMAP4メールサーバからGMSメールサーバへの移行を円滑に行うことができるマイグレーション・ユーティリティ Autoport を提供します。

Autoportを利用することによってメール環境の利用を長時間制限する必要はなく、またユーザにメールサーバの移行を全く意識させることなく移行作業を実施することができます。

【Autoport概要図】



■GMS Webメール

GMS Webメールは、広帯域とアクセス可能性に特有のインタフェース・オプションを数多く用意した柔軟性のあるWebメールクライアントです。GMS Webメールは、豊富な機能が搭載されているほか、他のPOPクライアントと同等の直感的なインタフェースを提供します。コラボレーション・サーバと連動することによって、Microsoft® Outlook®カレンダーと高い相互運用性を持つ共通のカレンダー、フォルダ、タスク、メモが利用可能です。

■GMSインスタント・メッセンジャー

GMSインスタント・メッセンジャー(IM)には、在席状況や連絡方法など優れたオプションが搭載されています。またスタンドアローンのIMクライアントとして使用できることはもちろん、Microsoft Outlookに統合して使用することもできます。すべてのサーバトラフィックがSSL暗号化されるため、通信上のプライバシーが保証されます。SMS、E-mailなどオフライン時の連絡方法をユーザが指定できるほか、どの方法に対してもIMクライアントから起動できます。

■GMSコラボレーション・サーバ

GMSコラボレーション・サーバは、クロスプラットフォームでフルに機能するMicrosoft Exchangeに代わるサーバです。MAPIコネクタを活用してMicrosoft OutlookをGMSのメッセージング環境に完全に統合でき、フォルダ、カレンダー、連絡先、メモ、ジャーナル、アドレス帳(個人およびグローバル)、タスクなどの共有が可能です。さらにGMSコラボレーション・サーバでは、複数クライアントへのアクセスも提供されており、カレンダーやタスクは、Apple® iCal、Mozilla Calendar、KDE Kontact、Bloomba、GMS WebMailなど、さまざまなクライアントからの閲覧や管理ができます。

■GMSアンチ・ウイルス

GMSアンチ・ウイルスは、コンテンツ、ヘッダー、添付ファイルを含めた着信/発信すべてのメールに対してスキャンを実行します。またウイルスに対して常に最新のスキャンを行うために自動更新されます。GMSアンチ・ウイルスは、早期にヒューリスティクス(発見的探索法)をアンチウイルス・ソリューションに導入したソフトウェアの1つであり、駆除機能も搭載されユーザが安全にメールを受信できるようにします。

■GMSアンチ・スパム

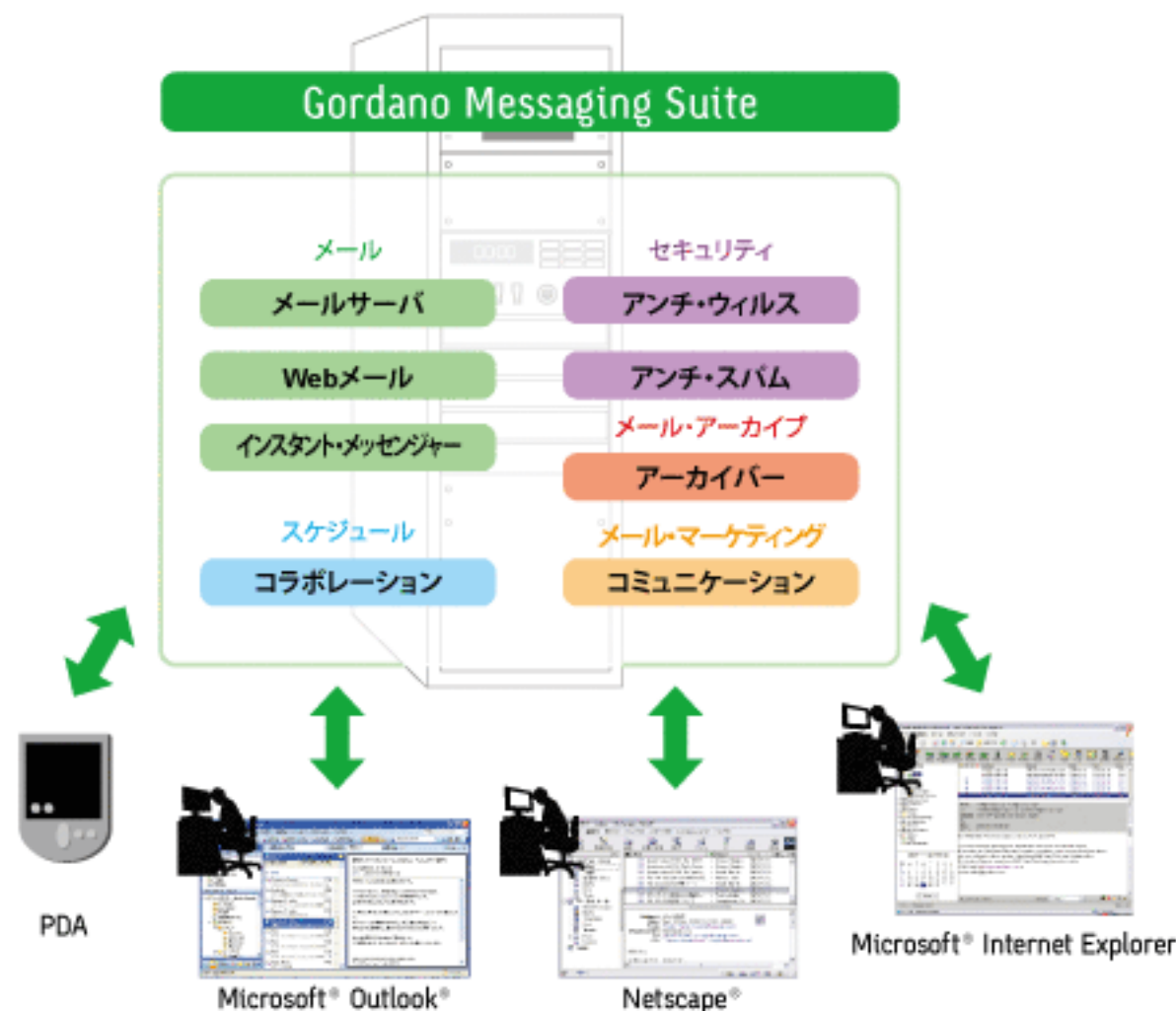
アンチ・スパムには、迷惑メールに対して高いレベルのセキュリティを提供するさまざまなアンチスパム・オプションが含まれています。IPアドレスブロッキング、メッセージクオリティ、ブロックリスト、ブラックリスト、ホワイトリスト、HTTPタグスキャンなどのフィルタでスパムをブロックします。GMSアンチ・スパムの更新サービスを組み合わせると、単語リスト制限やページアンフィルタ用の自動更新を含むスパムフィルタが機能します。スパムメッセージの変化に対応するため、特別に設定されたハニーポット(おとり機能)で受信されたスパムをもとに定期的に更新されます。

■GMSアーカイブ・サーバ

GMSアーカイブは、着信/発信すべてのメール・トラフィックについてオンサイト/オフサイトでのアーカイブを実行します。保管されたメールは、件名、添付ファイルの種類、サイズなど様々なパラメータを使用して検索・抽出することができます。GMSアーカイブは、SOX法などの法規制の遵守義務が求められる組織にとって不可欠となるソフトウェアです。

■GMSコミュニケーション・サーバ

GMSコミュニケーションは、メールマーケティング・ツールとして、ODBC経由で既存の組織データベースに統合し、ニュースレターの配布や特定のお客へのメール送信、ディスカッションリストといった3つの主要サービスを提供します。GMSコミュニケーションは短時間に多数の受信者宛にメールを送信することができ、また送信されたメールやメールからクリックされたリンク情報、バウンス管理などの完全なレポート機能を搭載しています。



■ 動作環境

サポート・プロトコル	POP, APOP, POPS, IMAP, IMAPS, SMTP, ESMTP, SMTPS, HTTP, HTTPS, LDAP, LDAPS, Active Directory, NTSAM
動作確認オペレーティングシステム	Linux® : SUSE® Linux Enterprise Server 9, RedHat® Enterprise Linux 3,4 Windows® : Microsoft® Windows® 2000/2003/XP
ユーザ・スケーラビリティ	1メールサーバあたり、10,000ユーザまで
ハードウェア条件	例) 1,000アカウント: IBM® Compatible PC、Dual 1GHz Intel® Pentium®, 512MB Memory Disk空き容量 50MB ^{※1} 以上

※1 : メールサーバ・パッケージ インストール容量のみ

©2007 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 仕様は予告なしに変更される場合があります。SGI、SGIロゴマーク、およびSGIのキューブは日本SGI株式会社の登録商標です。GordanoはGordano Ltd.の登録商標です。Microsoft、Outlook、WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。IntelおよびPentiumはIntel Corporationの登録商標です。Red Hatおよび全てのRed Hatベースの商標は、Red Hat, Inc.の登録商標および登録商標です。Cephra-Graftは、NTTソフトウェア株式会社の登録商標です。その他の商標については商標の所有者に所有権が属しています。(09/2007)



日本SGIは地球環境に優しい企業を目指しています

日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や材料等の資源消費量やCO2排出量の削減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。

日本SGI株式会社

〒150-8031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

TEL:0120-161-086 FAX:0120-161-087 <http://www.sgi.co.jp>

本社	TEL:03-5488-1811(大代表)	FAX:03-5420-7201
西日本支社	TEL:06-6343-6700(代表)	FAX:06-6343-6713
中部支社	TEL:0565-35-2581(代表)	FAX:0565-35-2189
つくば・東北事業所	TEL:029-858-1551(代表)	FAX:029-858-1071
東北営業所	TEL:022-221-2301(代表)	FAX:022-221-2304
北海道営業所	TEL:011-708-1511(代表)	FAX:011-758-2789
テクニカルサポートセンター	TEL:045-682-3700(代表)	FAX:045-682-0858